

## 後期アクションプラン環境施策2017年度進捗状況

### 1. 重点事業

#### ◆基本目標 1. 地域で取り組む地球温暖化の防止

～低炭素社会を目指すまちづくり～

事業名称	【1】「わたしのエコ宣言」の実施による家庭での取り組み支援【環境・自然共生課】		
事業概要	・市民に、地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することにより更なる環境配慮行動の推進につなげます。		
2017 年度 実施内容	・エコフェスタや、さんあーる広場 in シバヒロなどのイベントにおいて多くの市民に参加いただき、参加者は 985 人となりました。また町内会自治会の掲示板に「わたしのエコ宣言」チラシを掲示し、広く参加を呼びかけました。		
目標	わたしのエコ宣言参加者の増加		
目標値	10,000 人	基準年度 値	-
現状値	985 人	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【2】みどりのカーテン等の積極的な導入【環境・自然共生課】		
事業概要	市民団体「緑のカーテンプロジェクト」等と協働で、公共施設への緑のカーテン普及を図るとともに、家庭における緑のカーテン普及を推進します		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月14日、緑のカーテン土づくり講習会を初めて行い、市民10名の参加、また緑のカーテン育て方講習会を行い、市民50名の参加がありました。</li> <li>・そして、5月13日14日には市庁舎前にてゴーヤの苗の配布を行い、約745世帯、2,235苗を配布しました。また15日には下小山田苗圃にて、施設、団体向けに約3,600苗配布しました。</li> <li>・7月に緑のカーテンの写真を広く募集し、応募した写真はホームページで公開しました。</li> </ul>		
目標	①公共施設参加数の増加 ②市民向け苗の配布数の増加		
目標値	①300 施設 ②10,000 苗	基準年度 値	①45 施設 ②8,000 苗
現状値	①39 施設 ②5,900 苗	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【3】歩道の透水性舗装の整備【道路整備課】		
事業概要	雨水を浸透させることで地下水を保全し水循環の健全化を図るため、道路の新設や改良工事時に歩道の透水性舗装の整備を進めます。		
2017 年度 実施内容	・都計道3・4・38号線（木曽東）電線共同溝及び道路築造工事その4及び南54号線（つくし野小学校前通り）道路改良工事は完了し、予定通り透水性舗装をした。		
目標	透水性舗装面積の増加		
目標値	34,240 m <sup>2</sup>	基準年度 値	25,958 m <sup>2</sup>
現状値	30,777 m <sup>2</sup>	進捗度	★★★★☆

注)「目標値」「基準年度値」について

特に年度標記がない限り、「目標値」は2021年度、「基準年度値」は2015年度の値。

注)「進捗度」について(★の数について)

★☆☆☆☆ 0・10%      ★★☆☆☆ 20・30%      ★★★☆☆ 40・50・60%  
★★★★☆ 70・80・90%      ★★★★★ 達成

事業名称	【4】路線バス利用環境整備【交通事業推進課】		
事業概要	公共交通利用を促進するため、バス路線網再編についてバス事業者及び関係機関との協議・調整を行い、路線バスの乗り継ぎ拠点を整備し、乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網の再編を行います。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山田桜台の乗り継ぎ拠点化工事が完了しました。</li> <li>・小山田桜台、唐木田間で新規路線の検証運行を開始しました。</li> </ul>		
目標	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了		
目標値	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	基準年度値	協議開始
現状値	乗り継ぎ拠点化工事一部 完了（小山田桜台）	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【5】水素ステーションの誘致【環境・自然共生課】		
事業概要	燃料電池自動車普及のため、水素ステーションの市内誘致に向けた取り組みを進めます。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の調査を行いました。</li> <li>・市内数カ所の誘致候補地を検討したものの決定に至らず、引き続き誘致の検討を進めています。</li> </ul>		
目標	水素ステーションの誘致		
目標値	定置式または移動式 1 施設	基準年度値	—
現状値	調査検討中	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【6】エコドライブの周知、普及・啓発の実施【環境・自然共生課】		
事業概要	市域全体の温室効果ガス排出量の多くを占める自動車からの排出削減のため、エコドライブの周知、普及・啓発を行い、エコドライブを推進します。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川大学の学生と協働で作成したエコドライブガイド（市内のお出かけスポットの紹介とエコドライブの呼びかけを掲載）を環境月間やエコフェスタなどのイベントで市民に配布しました。</li> <li>・ホームページを通じ、エコドライブの実践方法などを周知しました。</li> </ul>		
目標	エコドライブ実践者の割合の増加		
目標値	エコドライブ実践者の割合 2015 年度比 10 ポイント 増	基準年度 値	42.8%
現状値	45.4%	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【7】特別緑地保全地区等の指定拡大【公園緑地課】		
事業概要	二酸化炭素の吸収源としてみどりを確保するため、特別緑地保全地区等の指定拡大を目指します。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月開催の都市計画審議会にて、広袴神明ふるさとの森が特別緑地保全地区として承認され、10 月 27 日に告示されました。</li> </ul>		
目標	特別緑地保全地区の面積の増加		
目標値	46.0ha	基準年度値	43ha
現状値	46.3ha	進捗度	★★★★★

## ◆基本目標 2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生物を守り育むまちづくり～

事業名称	【8】都市計画公園の用地取得・整備【公園緑地課】		
事業概要	市内のみどりの拠点となる都市公園として、町田薬師池公園四季彩の杜 西園・北園、野津田公園、芹ヶ谷公園の整備を進めます。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師公園 ゲートハウス実施設計は、計画通知作成業務を残し概ね完了しました。バスベイ実施設計及び 2017 年度予定の西園整備工事は完了しました。</li> <li>・野津田公園 拡張区域の基本設計は完了しました。市立陸上競技場の大型映像装置、ラグビーゴールポール設置、トラック改修工事は完了しました。観客席増設に伴う基本設計、造成設計、地質調査は、完了しました。</li> <li>・芹ヶ谷公園 実施設計及び、2017 年度予定の植生管理は完了しました。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田薬師池公園四季彩の杜 西園・北園の整備完了</li> <li>・野津田公園、芹ヶ谷公園の一部整備完了</li> </ul>		
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師池公園四季彩の杜整備完了 西園（2019 年度）・北園（2020 年度）</li> <li>・一部整備完了 野津田公園（2021 年度）、芹ヶ谷公園（2019 年度）</li> </ul>	基準年度値	—
現状値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師池公園 バスベイ実施設計・西園整備工事（1/3）</li> <li>・野津田公園 拡張区域基本設計・大型映像装置整備・ラグビーゴールポール設置・トラック改修工事・観客席増設基本設計・造成実施設計完了</li> <li>・芹沢公園 実施設計・植生管理（1/3）完了</li> </ul>	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【9】水辺の魅力の発信【環境・自然共生課】【公園緑地課】		
事業概要	市民の水辺に対する関心を高め、水辺の保全・活用を進めるため、水辺の魅力について情報発信を行います。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市ホームページ上に、湧水に関するコンテンツを作成しました。また、水辺で活動している団体の紹介記事を掲載しました。</li> <li>・町田生きもの共生フォーラムで、河川に関する活動を実施している団体のパネルを展示しました。</li> <li>・ECO まちだ夏号の季節のスケッチで、川沿いで見られるゆりかもめに関する記事を掲載しました。</li> <li>・町田の生物や生息環境を紹介する普及啓発資料「まちだ生きもの探しまっぷ」を作成し、水辺の生物や水辺に親しめる場所を掲載。4,000 部発行しました。【環境・自然環境課】</li> <li>・市民に向けて自然観察会（植物、昆虫、野鳥）を行いました。【公園緑地課】</li> </ul>		
目標	情報発信回数の増加		
目標値	20 回	基準年度値	—
現状値	環境・自然共生課 5 回、公園緑地課 17 回	進捗度	★★★★★

事業名称	【10】 生物多様性情報拠点機能の構築・充実【環境・自然共生課】		
事業概要	町田市の生物多様性に関する情報や資料の収集・発信の拠点（生物多様性センター）の機能整備・充実を図ります。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きものストップ（仮）」の設置を進める中で、実際の場所の整備よりも、まず情報拠点機能のあり方を検討し、インターネットやアプリなどの情報機器を活用することも含めて情報拠点の構築を図っていくこととしました。</li> </ul>		
目標	生物多様性情報拠点機能の整備・充実		
目標値	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	基準年度値	内容方向性の検討
現状値	0 か所	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【11】北部丘陵の整備【北部丘陵整備課】		
事業概要	北部丘陵が持つ資産を磨き、地域の価値を高めるため、手入れの届かない山林を再生保全し、持続性のある仕組みをつくり、さらなる環境整備等を行います。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用可能な山林の基礎調査、地域住民や活動団体への個別ヒアリング、地区別の意見交換会に基づき、上小山田町田中谷戸周辺、下小山田町東谷戸周辺のモデル地区を2箇所抽出しました。</li> <li>活動団体と下小山田町東谷戸周辺のモデル地区において協定を締結し、新たに里山保全活動を始めました。</li> </ul>		
目標	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積の増加		
目標値	5,000 m <sup>2</sup>	基準年度 値	—
現状値	約 6,600 m <sup>2</sup>	進捗度	★★★★★

事業名称	【12】遊休農地のあっせん【農業振興課】		
事業概要	休耕している農地を耕作希望者にあっせんすることで遊休農地の活用を図り、農業振興を行います。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回の農地バンク公開を実施し、2018年4月1日付けの農地の貸借が3件成立しました。</li> <li>意欲的な農業者等が遊休農地を積極的に引き受けて農地の有効利用を行う取り組みを後押しするため、町田市農地再生事業を実施し、1件の農地整備の経費を補助しました。</li> <li>青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的として、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して町田市農業次世代人材投資資金（旧名：青年就農給付金）を5名と1夫婦に交付しました。</li> </ul>		
目標	農地あっせん面積の増加		
目標値	20.0ha	基準年度 値	14.3ha
現状値	15.5ha	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【13】観光交流拠点を活用したイベントの実施【産業観光課】		
事業概要	観光交流拠点で実施するイベントを通じて、地域の歴史・自然・文化を情報発信するとともに、次世代への継承に寄与します。		
2017 年度 実施内容	「小野路の歴史の記憶をたどるツアー」や「冬の里山 野鳥観察会」などの他、新たなイベントとして土蔵での展示「端午の節句」などを実施しました。		
目標	小野路宿里山交流館での自然や歴史・文化に関するイベント実施回数の増加		
目標値	40 回/年	基準年度 値	32 回/年
現状値	34 回/年	進捗度	★★☆☆☆

### ◆基本目標3. 持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

事業名称	【14】 情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用【3R推進課】		
事業概要	リサイクル広場を情報発信拠点と位置づけ「地域リサイクル広場」を拡充・拡大し開催回数を増やす中で、効果的に様々な情報発信を行います。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪・パラリンピックのメダルを小型家電から回収した再生金属、いわゆる都市鉱山で賄うという「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に町田市として参加し、リサイクル広場でも小型家電回収の一環として携帯電話の回収を始めました。</li> <li>・常設のリサイクル広場では、一時的に生ごみ処理機を設置し生ごみの回収をすることも出来ました。</li> </ul>		
目標	①リサイクル広場開催箇所数の増加 ②リサイクル広場来場者数の増加		
目標値	①23ヶ所（2020年度） ②36,000人（2020年度）	基準年度 値	①17ヶ所（2014年度） ②30,000人（2014年度）
現状値	①24ヶ所 ②33,584人	進捗度	★★★★☆

事業名称	【15】 ごみ減量に関する出前講座の充実【3R推進課】		
事業概要	ごみの減量についての意識の向上を図るため、地域や学校、幼稚園などへのごみについての出前講座を継続して開催します。また、講座内容の充実を図ります。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会自治会 13回、中学校 3校（4回）、小学校 33校、学童保育クラブ 10クラブ、保育園・幼稚園 57回で実施しました。学童保育クラブではダンボールコンポスト講習会をメニューに加え各クラブに取り組んでいただきました。</li> </ul>		
目標	出前講座実施回数の増加		
目標値	150回／年（2020年度）	基準年度 値	104回／年（2014年度）
現状値	117回／年	進捗度	★★★★☆

事業名称	【16】 食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施【3R推進課】		
事業概要	ごみの発生抑制を図るため、全国的な食品ロスの状況や町田市のごみの現状について各種機会を通じて伝えることで「もったいない意識」を啓発します。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市施設でのサイズダウンチャレンジ（16回）、生ごみ水切りキャンペーン（2回）を実施しました。</li> <li>・「今が食べごろめしあがれキャンペーン」で市内スーパー店頭での啓発活動を実施しました（5回）。</li> <li>・食品ロス削減をテーマにした展示を実施しました（防災フェア・給食展の2回）。</li> <li>・使い切り料理教室を実施しました（2回）。</li> <li>・年末年始宴会食べきりキャンペーンを実施しました（2017年12月1日から2018年1月31日まで）。</li> <li>・食品衛生講習会において食品ロス削減PRを実施しました（11回）。</li> </ul>		
目標	キャンペーンの実施回数の増加		
目標値	20回／年（2020年度）	基準年度 値	12回／年（2014年度）
現状値	39回／年	進捗度	★★★★★

事業名称	【17】事業者向けの情報提供の実施【3R推進課】		
事業概要	丁寧できめ細かな情報提供のために「ごみ排出事業所」向けの説明会を実施するとともに、廃棄物の基本情報から事業コスト軽減に役立つ情報等を併せた、適正処理ルールブックを作成し、戸別訪問での啓発活動を実施します。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期訪問や多量排出事業者としての訪問等、合計81件の大規模事業所の訪問を行いました。</li> <li>・少量排出事業者の登録時の指導等、合計117件の中小事業所への訪問指導を実施しました。</li> <li>・紙ごみ受け入れ施設については、インターネットで他自治体の実施状況の調査を行った他、すでに設置し運用している他市の状況を見学・調査を行いました。</li> </ul>		
目標	①説明会開催回数 ②市内事業所への訪問件数の増加		
目標値	①1回/年(2020年度) ②190件/年(2020年度)	基準年度 値	①— ②—
現状値	①2回/年 ②198件/年	進捗度	★★★★★

事業名称	【18】生ごみ処理機の導入促進【3R推進課】		
事業概要	生ごみの資源化を進めてごみの発生抑制を図るため、たい肥化容器や生ごみ処理機の購入補助制度などを活用し、生ごみ自家処理の普及を進めます。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用生ごみ処理機については119台の申請で、2016年度の134台には及びませんでした。</li> <li>・大型生ごみ処理機については3台設置(新規2台、移設1台)しました。</li> <li>・ダンボールコンポストについては、市民向け講習会を4月から9月まで9回開催し156人が参加しました。また学童向け講習会を8回開催したほか、町内会自治会向け講習会を1回開催し8人が参加しました。</li> </ul>		
目標	生ごみ自家処理世帯数の増加		
目標値	14,981世帯(2020年度)	基準年度 値	1,831世帯(2014年度)
現状値	2,883世帯	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【19】ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討【3R推進課】		
事業概要	新たなごみの資源化施設の稼働により収集品目(容器包装プラスチック)が増え、またごみの資源化施設が分散(3ヶ所)するため、稼働時期に合わせた収集方法等を検討します。		
2017 年度 実施内容	・新資源化施設の稼働に合わせた収集方法(契約形態)を検討中です。		
目標	効果的な収集方法の確立		
目標値	効果的な収集方法の確立(2025年度)	基準年度 値	—
現状値	収集方法を検討中	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【20】熱回収施設等の整備【循環型施設整備課】		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備を進めます。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に工事に着手しました。</li> <li>・第1期工事として、旧花の家の解体及び旧管理棟の解体を行い、造成工事を進めています。</li> <li>・地区連絡会を4回開催し、周辺住民との協議を継続しています。</li> <li>・環境影響評価事後調査は、予定通り実施しました。</li> </ul>		
目標	熱回収施設等の整備、稼働開始		
目標値	稼働開始	基準年度 値	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定
現状値	造成工事進行中	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【21】資源ごみ処理施設の整備【循環型施設整備課】		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、相原地区、上小山田地区に容器包装プラスチックやビン・カン、ペットボトル等を資源化する施設の整備を進めます。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得に向けて、関係者との調整を行いました。【相原】</li> <li>・地区連絡会を開催し、施設建設に関する協議を進めました。【相原、上小山田】</li> </ul>		
目標	①資源ごみ処理施設（相原）の整備、稼働開始 ②資源ごみ処理施設（上小山田）の整備、稼働開始		
目標値	①稼働開始（2025年度） ②稼働開始（2027年度） ※2018年3月に稼働開始目標年度の見直しを行いました（当初目標は2020年度）。	基準年度 値	①要求水準書案の作成準備 ②施設計画等検討
現状値	関係者等と調整中	進捗度	★☆☆☆☆

#### ◆基本目標4. 良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

事業名称	【22】自転車利用環境の整備【道路政策課】【道路整備課】		
事業概要	大気汚染物質を排出しない自転車の利用を進めるため、自転車走行空間の整備を進めます。		
2017 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南1801号線自転車走行空間整備工事が完了しました。</li> <li>・平成29年5月に施行された自転車活用推進法に基づく、自転車走行空間に関する最新の動向を踏まえて、次期自転車レーン設置個所の検討を進めました。【道路政策課】</li> <li>・南1801号線自転車走行空間整備工事が完了しました。【道路整備課】</li> </ul>		
目標	自転車走行空間整備延長		
目標値	3.03km	基準年度値	1.37km（2016年度）
現状値	1.67km	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【23】下水道未整備箇所の污水管整備の推進【下水道整備課】		
事業概要	汚水を適正に処理し、河川水質の向上を図るため、下水道未整備箇所の下水道の整備を推進します。		
2017 年度実施内容	・三輪町ほか污水枝線工事ほか 6 案件の污水枝線工事を実施しました。		
目標	下水道人口普及率の増加		
目標値	99.0%	基準年度値	98.5%
現状値	98.7%	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【24】下水処理水の水質向上【水再生センター】		
事業概要	下水処理場（鶴見川クリーンセンター）への高度処理施設の増設により、下水処理水の水質向上を図ります。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見川クリーンセンター高度処理設備の増設工事は、土木躯体工事が完了し、建築工事、機械・電気設備工事を進めています。</li> <li>・既存施設に対する流入負荷について常に把握し、その結果を施設の運転条件に反映させることで、安定した水質を得ています。</li> </ul>		
目標	高度処理化率の増加（段階的の高度処理を含む）		
目標値	20.6%	基準年度値	9.8%
現状値	9.8%	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【25】有害化学物質の適正管理・処理の指導【環境保全課】		
事業概要	有害物質使用特定事業場からの土壌・地下水汚染を未然に防止するため、継続的に指導を行い、事業者の適正な有害物質の管理・使用を促します。		
2017 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016 年度までの立入指導結果を踏まえ、5 月に指導計画を立案しました。</li> <li>・指導計画に挙げていた事業場と 2017 年度から対象となった事業場等を合わせて 25 件の事業場に対し立入を行い、有害物質を使用している施設の構造基準や使用方法に関して指導しました。また、必要な届出が提出されていない事業場に対して届出指導を行いました。</li> </ul>		
目標	全対象事業場 57 箇所（2016 年 3 月 31 日時点）への継続監視		
目標値	20 件／年	基準年度値	—
現状値	25 件／年	進捗度	★★★★★

事業名称	【26】生活風景宣言等による良好な景観づくり【地区街づくり課】		
事業概要	景観という言葉の浸透を目指し、身近な取り組みで「まちの美化」につながる取り組みを宣言してもらう「生活風景宣言」を制度として推進していきます。意識の高まりに合わせて、景観協定の締結や地域景観資源の登録につなげていきます。		
2017 年度実施内容	・町田市住みよい街づくり条例に基づき登録されている地区街づくり団体に声掛けを行い、また、2018 年度以降に行う周知方法についての検討を行いました。		
目標	「生活風景宣言」件数の増加		
目標値	5 件（2020 年度）	基準年度値	—
現状値	0 件	進捗度	★☆☆☆☆

◆基本目標5. 環境に配慮した生活スタイルの定着

～学び・協働で進めるまちづくり～

事業名称	【27】環境副読本を活用した環境教育の実施【指導課】【環境政策課】		
事業概要	市内公立小学校の授業や自宅学習で「環境副読本」を活用し、環境問題への意識を高めるとともに、町田市環境についても考える機会を提供します。		
2017年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校への活用状況アンケートを実施し、その結果を受け、小学4年生への配布に加え、学校図書館、学童、子どもセンター・子どもクラブへの副読本設置を行いました。</li> <li>3R推進課が行う「ごみと環境の出前講座」内でも、環境副読本を活用することを調整しました。</li> </ul>		
目標	環境副読本の市内公立全小学校での活用		
目標値	市内公立全小学校 42校	基準年度値	—
現状値	36校	進捗度	★★★★☆

事業名称	【28】子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施【環境・自然共生課】		
事業概要	子どもへの環境学習を進めるため、環境に関する実験や体験を重視した子ども向け環境講座のプログラムを企画・実施し、学習機会の充実を図ります。		
2017年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たにおだきゅう子ども環境教室 in 町田を実施し、親子向けに水素の実験の機会を提供しました。夏休みに子ども向け環境学習として「水素を知ろう！地球にやさしいミライのエネルギー」を子どもセンターまあちで開催。昨年は小中学生対象でしたが、小学5年生から高校生を対象に、関心の高い子の知的好奇心を満たす内容で実施しました。</li> <li>セミの鳴き声調査と関連して、庁舎で2回セミの種類や生態を学ぶセミナーを新規に実施し、親子連れが参加しました。</li> <li>ライトダウン関連企画として、紙芝居やお話会を実施しました。</li> </ul>		
目標	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実		
目標値	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	基準年度値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施
現状値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施	進捗度	★★★★★

事業名称	【29】まちだエコ宣言制度の推進【環境・自然共生課】		
事業概要	事業者と市の協働による環境配慮活動の推進に向け、自主的に環境配慮活動(エコ活動)を行っている事業者がその取り組み内容を宣言(エコ宣言)し、市に登録します。市は、その取り組み内容を市民や他の事業者にも広くPRし、更なる環境配慮型の事業活動及び消費活動を促進します。		
2017年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田エコフェスタにてエコ宣言参加事業者の活動のPRを行いました(3社)。</li> <li>商工会議所ニュース(月刊誌)やECO まちだでエコ宣言参加事業者の募集を行いました。</li> <li>エコ宣言参加事業者に年度末に活動報告を提出してもらい、それぞれの活動報告をまとめ、ホームページで紹介しました。</li> </ul>		
目標	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加		
目標値	100店・事業所	基準年度値	67店・事業所
現状値	61店・事業所	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【30】 ホームページの充実による情報集約・発信【環境政策課】		
事業概要	町田市ホームページに作成した「エコページ」を活用し 環境情報の収集・発信を強化します。また、分野別・年代別など、わかりやすい情報発信を行います。		
2017 年度実施内容	・学習一覧の作成やエコページの内容充実について、方向性の検討を行い、骨子案を作成しました。		
目標	①エコページへのアクセス数の増加 ②分野別・年代別環境学習一覧の作成		
目標値	①8,000 件 ②分野別・年代別環境学習一覧の作成（2018 年度）	基準年度値	①3,987 件 ② -
現状値	①4,623 件 ②骨子案作成	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【31】 ごみ減量サポーターの地域活動支援【3R推進課】		
事業概要	町内会・自治会で、出前講座やリサイクル広場、ダンボールコンポスト説明会等を開催するなど、「ごみ減量サポーター」がそれぞれの地域で、ごみ減量をすすめ、地域で活躍する取り組みを支援します。		
2017 年度実施内容	・リサイクル広場の協定締結団体数は、9団体となりました。 ・「食品ロス」及び「小型家電リサイクル」についての研修会を10月に開催、リサイクル施設見学会を11月に開催しました。また、ごみ減量サポーターを通して、町内会自治会向け出前講座を12回（11団体）行いました。		
目標	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加		
目標値	10 団体/年	基準年度値	-
現状値	20 団体/年	進捗度	★★★★★

## 2. その他の施策

### ◆基本目標 1. 地域で取り組む地球温暖化の防止

～低炭素社会を目指すまちづくり～

#### (1) 地球温暖化防止の意識の浸透を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>① 球温暖化対策の取り組みの情報を分かりやすく発信します</b>		
パンフレットの配布、ホームページ等による地球温暖化対策の取り組みや助成制度等の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECO まちだでエコドライブやエコ宣言などの呼びかけ、取り組みの紹介を行いました。</li> <li>・ホームページでは国や都で実施されている助成制度などの情報提供を行いました。</li> <li>・エコフェスタで「わたしのエコ宣言」を広く市民に呼びかけ、多くの市民にエコ宣言していただきました。</li> <li>・市のホームページに宣言状況を掲載し、二酸化炭素削減量を算出し公開しました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①
地球温暖化対策の具体的な取り組みの周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報まちだや ECO まちだ、ホームページ、イベントなどで情報提供を行いました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①
<b>② 温室効果ガス排出量やエネルギー使用量の「見える化」を進めます</b>		
市の施設からの温室効果ガス排出量、エネルギー使用量の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016 年度の市域全体の温室効果ガス排出量を取りまとめ、12 月に「町田市環境白書 2017」を発行しました。また、市のホームページでも公表しました。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①
家庭でのエネルギー使用量を測定するための「省エネナビ」等の貸し出しの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ更新などを行い、省エネナビ利用を呼びかけましたが、大きな成果は得られませんでした。【環境・自然共生課】</li> </ul>	△ ①
エネルギー使用測定のためのツールやアプリに関する情報の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や他自治体、企業等のホームページや関係機関誌などから情報収集を行いました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①
<b>③ 地域や市民の地球温暖化対策の取り組みを促進するための仕組みを運用します</b>		
→重点事業 1（「わたしのエコ宣言」の実施による家庭での取り組み支援） P1 参照		

#### (2) 持続可能なエネルギー利用への転換を図ります

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>① 公共施設における取り組みを進めます</b>		
公共施設への再生可能エネルギー・省エネ機器の導入推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計において、太陽光パネルの設置を検討し、工事においては人感式センサー及び LED 照明や CO<sub>2</sub> センサーの導入を行いました。【営繕課】</li> </ul>	○ ①②
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 4 校、中学校 6 校のトイレ改修工事が完了し、節水型トイレやセンサー照明を採用しました。【施設課】</li> </ul>	○ ①②
ごみの資源化施設への再生可能エネルギーの導入推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求水準書作成の基本となる事業コンセプトの検討を行いました。【循環型施設整備課】</li> </ul>	○ ①②
未利用エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水熱利用空調設備の基本・実施設計を行いました。また予想 CO<sub>2</sub> 発生量を算出しました。【水再生センター】</li> </ul>	○ ①②
街路灯・公園灯の省エネ化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型街路灯を中心に省エネ型照明器具へ交換した結果、年間 110t の CO<sub>2</sub> を削減することができました。【道路管理課】</li> </ul>	◎ ①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の公園灯に関する調査を実施し、LED 対応の必要灯数が把握できました。【公園緑地課】</li> </ul>	○ ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ボランティアと学生が支援事業者の指導の下、草花や野菜を育て屋上緑化を行いました。【庁舎活用課】</li> </ul>	○ ①
→重点事業 2（緑のカーテン等の積極的な導入） P1 参照		

注)「評価」について

◎: 予定以上に実施できた ○: 予定どおりに実施できた △: あまり予定通りに実施できなかった

×: まったく予定通りに実施できなかった

注)「達成目標」について

「達成目標」欄は各事業が当該基本目標における達成目標のうち、どの達成目標に寄与するのかを示しています。

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>②家庭における取り組みを促進します</b>		
市民を対象とした住宅用太陽光発電システムをはじめとする省エネ機器の情報提供による普及促進	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。【環境・自然共生課】	○ ①②
家庭への省エネ機器等の導入支援の検討、情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
→重点事業2（緑のカーテン等の積極的な導入） P●●1 参照		
<b>③事業活動における取り組みを促進します</b>		
事業活動における省エネの促進のための情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページやECO まちだを通じて行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
まちだエコ宣言制度の推進	・広報紙において、登録事業者の紹介を行うなど、登録することによるメリットを生み出し、次年度のベースを行いました。【環境・自然共生課】	○ ①②③
商店街街路灯のLED化推進	・町田駅前商店会が管理する16基の街路灯（1つの街路灯に2つのランプ）についてLED街路灯への交換作業を行いました。【産業観光課】	○ ①
事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネ促進のための融資に係る利子の一部補助	・町田市中小企業融資制度において環境改善整備資金のメニューを設け、取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。【産業観光課】	○ ①②

### （3）地球温暖化防止に貢献するまちづくりを進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます</b>		
→重点事業3（歩道の透水性舗装の整備） P1 参照		
町田市のエネルギー利用の現状や、地球温暖化に関する学習機会の提供	・夏季におだきゅう親子環境教室 in 町田や、水素エネルギーに関する夏休み環境学習、また星空観望会や講演会を実施し、主に小中学生を対象にした学習機会を提供しました。【環境・自然共生課】	◎ ①
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの実施	・環境省「ライトダウン2017」において市職員等に呼びかけ、節電意識の向上を図ることができました。 ・2017年度も相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。【環境・自然共生課】	○ ①
<b>②自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【(4-[1]-③)で再掲】</b>		
→重点事業4（路線バス利用環境整備） P1 参照		
地域コミュニティバス等の運行	・相原地域において、2018年2月1日から2018年3月30日まで、実証実験運行を行いました。 ・つくし野地区において経路上の安全等について、警視庁と協議を行いました。【交通事業推進課】	○ ①③
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・緑のカーテンイベントやセミ・セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけました。【環境・自然共生課】	○ ①③
<b>③低公害車の普及促進等を図ります【(4-[1]-④)で再掲】</b>		
→重点事業5（水素ステーションの誘致） P2 参照		
→重点事業6（エコドライブの周知、普及・啓発の実施） P2 参照		
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。【環境・自然共生課】	◎ ①
低公害車〔天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等〕の公用車としての導入検討・実施	・業務用車両9台（ガソリン車8台・ディーゼル車1台）を、現行環境基準に適合した車両に買い替えました。【管財課】	○ ①

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>④自転車利用環境の整備を進めます【(4-[1]-⑤)で再掲】</b>		
自転車走行空間の検討・整備	・平成29年5月に施行された自転車活用推進法に基づく、自転車走行空間に関する最新の動向を踏まえて、次期自転車レーン設置個所の検討を進めました。【道路政策課】	○ ①③
	・南1801号線で自転車レーンを298m整備しました。【道路整備課】	○ ①③
自転車駐車場の整備	・2017年10月に鶴川駅南口自転車駐車を供用開始しました。2017年10月に町田ターミナル自転車駐車場のラック更新を実施しました。【道路管財課】	○ ①③
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	・全庁掲示板を通じ、職員に自転車利用を促進しました。【環境・自然共生課】	○ ①③
	・自転車利用について、全庁（各部長宛）に通知で依頼し利用を喚起しました。【管財課】	○ ①③
<b>⑤町田の農産物の地産地消を推進します【(2-[4]-⑤)で再掲】</b>		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・小学校給食に地場産農産物に対する補助を行いました。新規にまち☆ベジメニューの日を1回実施しました。 ・農家と給食栄養士のマッチング会を1回行いました。【農業振興課】	◎ ①
まち☆ベジマップ(農産物直売所マップ)、まち☆ベジグルメ店なびの配布による地産地消PR	・まち☆ベジグルメ店なびの改定を行い、市民センター等で配布しました。 ・毎月のまち☆ベジ市、日曜朝市でまち☆ベジマップやまち☆ベジグルメ店なびの配布し、PR活動を行いました。【農業振興課】	○ ①

#### (4) 二酸化炭素の吸収源として、みどりの確保を推進します

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①二酸化炭素吸収源を維持するため、緑地を保全します</b>		
→重点事業7(特別緑地保全地区等の指定拡大) P2参照		
市内緑地の適正な維持管理	・現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定等を行い、市内の緑地を保全しました。【公園緑地課】	○ ①
街路樹の適正な維持管理	・町田市道上の街路樹植栽帯へ、中高木21本、低木2784株を補植しました。【道路維持課】	◎ ①
<b>②二酸化炭素吸収量の増加を図るため、緑化を推進します</b>		
緑化推進に関連した対策の検討	・5月中旬、市庁舎前にてゴーヤ苗の配布を行い、約745世帯、2,235苗を配布しました。 ・施設、団体向けにゴーヤ苗約3,600苗を配布しました。 ・公共施設での緑のカーテン導入を39施設で実施し、ゴーヤ苗5,900苗を配布しました。【環境・自然共生課】	△ ①
	・他の施策を優先して進めており、具体的な検討が実施できませんでした。【環境政策課】	△ ①

### ◆基本目標2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生物を守り育むまちづくり～

#### (1) みどりを守り、増やし、育て、活かす取り組みを進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①緑地の現状を把握し、公表します</b>		
市内公園緑地等の調査の実施	・市内の公園緑地等の把握を行い、とりまとめを行い、公表しました。【公園緑地課】	○ ①
市域全体に対する緑地の割合の把握と公表	・市内の公園緑地等の把握を行い、公表しました。市域全体の緑地割合は、2021年度の町田市緑の基本計画改定時に調査を予定しています。【公園緑地課】	○ ①

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>②みどりの保全を進めます</b>		
→重点事業 8 (都市計画公園の用地取得・整備) P3 参照		
街路樹の適正な維持管理	・ 約 400 路線にて計画的に作業を行い、街路樹を適切な緑量で維持管理しました。【道路維持課】	○ ①
<b>③身近なみどりを増やします</b>		
街区公園の整備	・ 宅地開発等に伴う提供公園の適正な指導に努めました。【公園緑地課】	○ ①
民間の施設における緑化の制度や基準 [緑化基準等] の導入検討	・ 「町田市宅地開発事業に関する条例」に基づく運用を行っており、新たな制度や基準の導入は予定していません。【公園緑地課】	× ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	・ 屋上花畑の土壌改良等で砂利部分を減らし、低木及び多年草を植えて目標の面積を増やすことができました。【庁舎活用課】	○ ①
みどりのカーテン等の積極的な導入	・ 5 月中旬、市庁舎前にてゴーヤ苗の配布を行い、約 745 世帯、2,235 苗を配布しました。また、施設、団体向けに約 3,600 苗配布しました。公共施設へは 45 施設、苗配布数 8000 苗を目標としたが、39 施設、5,900 苗で目標を達成することができませんでした。【環境・自然共生課】	△ ①
<b>④市民協働による緑地の保全、維持管理を進めます</b>		
公園や施設等の緑について、公益的市民活動団体による維持管理の運用支援	・ ふるさとの森などの保全・維持管理に関わる公益的活動について、199 の団体に登録をしていただき、取り組んでいただきました。 ・ 用具や燃料等の支給といった支援を行いました。【公園緑地課】	○ ①
伐採木、伐採竹の製品化等による利用促進	・ ゴーヤの苗配布時にダンボールコンポストの竹が生物資源利用であることを周知するパネルを展示した。町田生きもの共生フォーラムでは、伐採木を使ってのワークショップを実施し、ホームページに里山の資源利用のコンテンツを作成しましたが、製品化には至りませんでした。【環境・自然共生課】	○ ①
<b>⑤緑地を保全しながら活用し、ふれあいの場を確保します</b>		
自然観察会の開催、里山整備活動を体験できる場の提供	・ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。【公園緑地課】	○ ①③
	・ 鶴見川源流保水の森において、公募の市民等を対象に、NPO 団体との協働により竹の伐採体験や生きもの観察会を実施しました。【北部丘陵整備課】	○ ①③

## (2) 水辺の保全・活用と水循環の健全化を進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①水辺環境を保全します</b>		
アダプト事業による高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援	・ 樹木の剪定や調整池の浚渫を行う団体に対して、支援活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
<b>②湧水地の保全、地下水保全のため、水源涵養域の保全、雨水の浸透を図ります</b>		
鶴見川・境川・恩田川等の水源涵養域にある樹林地等の保全	・ 公益的市民活動により、適正な維持管理に努めました。【公園緑地課】	○ ②
道路の新設や改良工事における、歩道部の透水性舗装の実施	・ 歩道の透水性舗装による整備を行いました。 A=365 m <sup>2</sup> 【道路整備課】	○ ②
宅地開発・中高層建築物の雨水貯留施設設置の指導及び個人住宅の雨水浸透設備設置補助事業の普及促進	・ 雨水貯留施設について、宅地開発・中高層建築物に対して 7 件の指導を行いました。雨水浸透設備設置補助事業について 3 件の補助を行いました。【下水道管理課】	○ ②
宅地開発業者に対する雨水浸透施設設置の指導	・ 69 件の宅地開発事業に対して雨水浸透施設設置の指導をしました。【土地利用調整課】	○ ②

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
東京都環境確保条例に基づく地下水の揚水量の把握、必要に応じた地下水利用者への指導	・ 全対象施設 122 件に対し提出指導を行い、91%の事業場から報告を受けています。未報告事業場に対しては引き続き提出指導を行います。 【環境保全課】	○ ②
湧水調査の継続、湧水地の保全	・ 町田市ホームページ内に、新たに町田の湧水を周知するコンテンツを作成しましたが、湧水地の保全策は実施しませんでした。【環境・自然共生課】	△ ②
	・ 環境・自然共生課と湧水情報を共有しましたが、保全策は実施しませんでした。【環境政策課】	△ ②
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	・ 市街化調整区域における 2 件の特定土地利用行為に対して透水性舗装の指導をしました。【土地利用調整課】	○ ②
<b>③町田の水辺の魅力を発信します</b>		
→重点事業 9（水辺の魅力を発信） P3 参照		

### （３）生物多様性の保全を進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①生物多様性に関する情報を発信します</b>		
→重点事業 10（生物多様性情報拠点機能の構築・充実） P3 参照		
生物多様性の確保や外来生物対策に関する市の方針、取り組み状況の発信、啓発活動の実施	・ ホームページ上に、湧水やアライグマ・ハクビシンに関するコンテンツを作成するなど、情報発信を充実させました。「まちだ生きもの探しまっぷ」を作成、発行しました。生きものストップについては、あり方の検討を行ったが、今年度中に 1 か所設置することはできませんでした。【環境・自然共生課】	○ ③
自然観察会、学習会等の開催	・ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました【公園緑地課】	○ ③
	・ 鶴見川源流保水の森において、公募の市民等を対象に、NPO 団体との協働により生きもの観察会を実施しました。【北部丘陵整備課】	○ ③
<b>②市内の生物の生育・生息状況を把握します</b>		
市民協働による生きもの調査の実施	・ ツバメの巣探し調査、セミの鳴き声調査を実施しました。ツバメの営巢できる環境が市内にあることがわかったため、3月にツバメの見守りを PRするステッカーを作成、周知しました。【環境・自然共生課】	◎ ③
<b>③生物多様性保全の取り組みを推進します</b>		
学校におけるビオトープの創出、活用	・ 低学年では生活科の学習、中学年では総合の学習や理科の学習において、虫やメダカなどの水辺の生き物の観察・飼育を行いました。【指導課】	○ ③
熱回収施設等におけるビオトープの創出	・ 東京都協議等を踏まえ、自然環境に配慮したビオトープの創出計画を作成し、東京都に協議書を提出しました。【循環型施設整備課】	○ ③
環境保全団体との協働による、生物の保全推進	・ ツバメの巣探し調査等で市民団体「みどりのHATS」にご協力いただきました。また、「コエダプラスプロジェクト」をはじめ、市内の団体との協働により、町田生きもの共生フォーラムを実施しました。【環境・自然共生課】	○ ③
	・ 忠生公園においてボランティアと協働し、樹林地等の適正な維持管理に努めました。【公園緑地課】	○ ①③
NPO団体との協働による、貴重な生物の保全促進	・ 鶴見川源流保水の森及び小野路町奈良ばい谷戸において、NPO 団体との協働により里山環境を保全・再生しました。【北部丘陵整備課】	○ ①③
ビオトープ作庭イベントの開催	・ ビオトープの管理活動を市民が活発に行っている例として、足立区桑袋ビオトープ公園を視察し、情報収集を行いました。【環境・自然共生課】	○ ③

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>④外来生物対策を進めます</b>		
生態系や農業生産に被害を及ぼす外来生物の防除	・ 増加傾向にある有害鳥獣の捕獲・殺処分の委託契約を行い、被害の減少を図りました。 ・ より効果的な防除方法を検証するための事業計画を作成しました。【農業振興課】	◎ ③
外来生物の適正な飼育・管理の普及啓発	・ ヒアリに関して、保健所と対応窓口の調整を行いました。ECOまちだ秋号にて外来生物の飼育等に関する記事を掲載しました。アライグマ・ハクビシンに関して、庁内で情報共有を行い、東京都からの補助金を活用したアライグマ・ハクビシンの防除委託事業を検討しました。【環境・自然共生課】	◎ ③

#### (4) 谷戸の環境と農地・農業を守ります

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①谷戸の環境を保全し、活用します</b>		
→重点事業 11 (北部丘陵の整備) P4 参照		
樹林地の管理による里山の適正な更新	・ 他施策を優先して進めるため、現在取り組みの予定はありません。【公園緑地課】	× ①③
東京都への緑地里山保全地域指定の要請	・ 三輪地区について、都へ要請を行いました。【公園緑地課】	○ ①
市民を対象とした自然環境学習会による谷戸環境の再生管理	・ 小野路公園において、指定管理者が自主事業として雑木林管理講習会を実施しました。【公園緑地課】	○ ①③
自然環境学習会や市民協働による谷戸環境の再生管理	・ 小野路町奈良ばい谷戸において、地域の伝統農法による谷戸環境の再生に取り組むとともに、公募市民による農業体験(通年)の機会を提供しました。【北部丘陵整備課】	○ ③
<b>②多面的機能を有する農地を保全するため、農業支援を進めます</b>		
→重点事業 12 (遊休農地のあっせん) P4 参照		
農産物直売所の開設支援	・ 直売所出荷検討会の立上げの前段として、農家 3 名から意見の聞き取りを行いました。また、農家 932 名に直売所出荷に関するアンケートを実施しました。【農業振興課】	○ ①
市街化調整地域の耕作放棄地の解消	・ 2 回の農地バンク公開を行い、2018 年 4 月 1 日付で、3 件(4536㎡)の新規農地貸借を行い、あっせん農地が 15.5ha になりました。【農業振興課】	△ ①
援農ボランティアの育成を行う市内 NPO 法人に対する事業支援	・ 援農ボランティアを育成する団体に、育成に係る経費に対して補助金を交付しました。【農業振興課】	○ ①
農業研修事業の実施	・ 第 7 期生、7 名が、2 年間の農業研修を修了しました。修了した 7 名は、農業に携わる為の進路を選択しています。【農業振興課】	○ ①
<b>③環境保全型農業に取り組む農業者の育成を進めます</b>		
環境保全型農業に取り組む農業者の支援・拡大	・ エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。農業者に対して、窓口にて PR を開始しました。【農業振興課】	○ ①
<b>④市民が農業とふれあえる機会を提供します</b>		
市民農園、体験農園の開設・運営支援	・ 市内 3 園の市民農園について管理運営を行いました。体験農園について、利用者募集の広報等の支援を行いました。【農業振興課】	○ ①
農業体験機会の提供	・ 農業の大切さや収穫の喜びを体験してもらうことを目的に体験事業を実施しました。11 組 29 名の応募があり、田植え、草取り、稲刈りの体験を実施しました。【農業振興課】	○ ①
	・ 町田っ子カリキュラムをもとに地域の農家や保護者の協力を得て、田畑を耕したり米や野菜を育てて食べる等の体験活動を行いました。児童の食文化や健康について理解を深めることができました。【指導課】	○ ①

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
米作り体験農業の実施	・ 農業の大切さや収穫の喜びを体験してもらうことを目的に体験事業を実施しました。11組29名の応募があり、田植え、草取り、稲刈りの体験を実施しました。【農業委員会】	○ ①
<b>⑤町田の農産物の地産地消を進めます【再掲(1-[3]-⑤)】</b>		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・ 小学校給食に地場産農産物に対する補助を行いました。新規にまち☆ベジメニューの日を1回実施しました。 ・ 農家と給食栄養士のマッチング会を1回行いました。【農業振興課】	◎ ①
まち☆ベジマップ（農産物直売所マップ）、まち☆ベジグルメ店なびの配布による地産地消PR	・ まち☆ベジグルメ店なびの改定を行い、市民センター等で配布しました。 ・ 毎月のまち☆ベジ市、日曜朝市でまち☆ベジマップやまち☆ベジグルメ店なびを配布し、PR活動を行いました。【農業振興課】	○ ①

### (5) 歴史的文化的環境を守ります

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>①歴史的文化的環境を保全します</b>		
国・都・市指定史跡・有形文化財の整備事業の実施	・ ①牢場遺跡の上屋の建替え及び周辺の整備工事を実施しました。 ・ ②耐震補強等の整備工事を実施しました。【生涯学習総務課】	○ ①
文化財保護の一環として国・都・市指定史跡・有形文化財の広報活動の実施	・ 文化財ウィークに合わせて企画展を開催しました。多摩郷土誌フェアにおいて関連図書を販売しました。文化財防火デーに伴い消防演習を実施しました。【生涯学習総務課】	○ ①
<b>① 自然や歴史・文化とのふれあいを進めます</b>		
→重点事業 13（観光交流拠点を活用したイベントの実施） P4 参照		
フットパスの普及促進	・ 小野路宿里山交流館及び町田市観光コンベンション協会のイベントでフットパスガイドツアーを実施しました。 ・ フットパスルート「相原から七国峠」に道標2基を設置しました。【産業観光課】	○ ①
自然観察会の開催	・ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。【公園緑地課】	○ ①③

## ◆基本目標3. 持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

### (1) ごみの減量、資源化に対する意識の向上を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>①3Rについて普及啓発を進め、排出抑制を促します</b>		
→重点事業 14（情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用） P5 参照		
ごみの減量を意識づけるためのホームページ等の充実	・ 市のホームページにおいて、3Rについての紹介の内容を充実させました。【3R推進課】	○ ①②③
広報紙による啓発	・ 「ECOまちだ」を4回発行しました。【環境政策課】	○ ①②③
	・ 「ごみナクナーレ」を2回発行し、市民団体の取組として中町三丁目町内会、藤の台花の会を、市の取組として3Rかるたや子ども用リユース品についてを掲載しました。【3R推進課】	○ ①②③
<b>②ごみの減量、分別排出の徹底に関する市民の学習の機会を提供します</b>		
→重点事業 15（ごみ減量に関する出前講座の充実） P5 参照		
ごみ減量に関する体験型学習機会の充実	・ 予定通りの講座を開催。夏休みわくわくエコ体験では「布ぞうり」「ペットボトルキャップカレンダー」の工作を、リサイクル施設見学会ではリサイクルパークあさお（川崎市）等の見学を実施しました。【3R推進課】	○ ①②③

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
剪定枝資源化センター、リレーセンターみなみ等の見学会の充実	・ 剪定枝資源化センター・リレーセンターみなみにおいては、他市からの行政視察は数件ありましたが、市民対象の環境学習の場としての位置づけはできませんでした。【資源循環課】	× ①③
<b>③市民・市民団体・事業者との協働によるごみ減量の啓発活動を進めます</b>		
ごみ減量サポーター(廃棄物減量等推進員)との地域活動の促進	・ 9団体とリサイクル広場の協定を締結しました。また、ごみ減量サポーターを対象とした研修会を10月に1回、リサイクル施設見学会を11月に1回開催しました。【3R推進課】	○ ①②③
市民・市民団体・事業者と協働し、その活動を支援	・ 協定を締結している市民団体の要望に基づき、消耗品の提供などの支援を行いました。【3R推進課】	○ ①②③

## (2) ごみの発生抑制、再使用を進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①家庭におけるごみの減量・発生抑制を促進します</b>		
→重点事業 16 (食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施) P5 参照		
有料指定収集袋利用制度の継続	・ 月ごとに在庫数を把握し、製造量を調整することで安定供給をすることができました。【3R推進課】	○ ①②
回収した粗大ごみの修理、販売	・ まちだエコライフ推進社と「粗大ごみ等の有効利用に関する協定」を締結し、協定に基づき提供した粗大ごみ等を同公社が修理・再生し、販売しました。【3R推進課】	○ ①③
<b>②事業系ごみの減量を促進します</b>		
→重点事業 17 (事業者向けの情報提供の実施) P6 参照		
事業系ごみの適正排出のための、事業者への丁寧できめ細かな情報提供と発信	・ 大規模事業所への訪問や説明会での指導など、476件の事業所・事業者に対して指導を行いました。【3R推進課】 ・ 排出事業者へは101件、許可業者へは16件の訪問指導を行い、適正搬入に向けた指導を継続的に行いました。また、2月に許可業者向けの説明会を開催し64社の参加がありました。【資源循環課】	○ ①②③ ○ ①②
事業者と連携した食品ロスの啓発活動の推進	・ 商工会議所や商店会、食品衛生協会などの事業者団体と連携した「食品ロス削減キャンペーン」、リサイクル推進店と連携した「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を実施しました。【3R推進課】	○ ①②
<b>③市内イベントでのごみの発生抑制の取り組みを推進します</b>		
市内でのイベント開催時におけるリユース食器の利用促進など、ごみの出ないイベント開催の支援	・ チラシの配布、ホームページによるPRを実施しました。【3R推進課】	○ ①②
各種イベントでの「ごみ減量キャンペーン」の実施	・ 10月の3R推進月間に市内リサイクル推進店5か所で「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を開催しました。【3R推進課】	○ ①②③

## (3) ごみの資源化を進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①生ごみの資源化を図ります</b>		
→重点事業 18 (生ごみ処理機の導入促進) P6 参照		
ダンボールコンポスト等の利用方法や生成物の使い方講座の開催	・ 市民向け9回、学童保育クラブ向け8回、町内会向け1回の講習会を開催しました。【3R推進課】	○ ①②③
<b>②プラスチックの資源化を図ります</b>		
容器包装プラスチックの市内全域での資源化に向けた検証及び準備	・ 新資源化施設の稼働に合わせた収集方法(契約形態)を検討中です。【3R推進課】	△ ①③
搬入された製品プラスチックの資源化	・ 製品プラスチックの資源化は、海外での不法投棄等による環境問題があり、業者選定は慎重に行う必要があることから、調査検討を行いました。【資源循環課】	△ ①③

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>③生活や社会活動から発生するごみの資源化を図ります</b>		
容器包装プラスチックの市内全域での資源化に向けた検証及び準備	・ルミネ屋上イベントにおいてプチガーデニング体験を実施し好評を得ることができました。また、今年度は新たな取り組みとして「みどり東京温暖化プロジェクト」に参加し、更にPRの場を広げることができました。一方で剪定枝とたい肥の量の収支に大きな変化は無く、ある程度落ち着いて推移しています。【資源循環課】	○ ①③
「リサイクル広場まちだ」での回収品目追加の検討	・使用済み携帯電話を回収品目として追加し、回収を開始しました。【3R推進課】	○ ①③
地域住民主体で運営する地域リサイクル広場の拡大	・ごみ減量サポーターを通じ、自治会町内会へPRを行い、新たに1団体と協定を結びました。【3R推進課】	○ ①③
搬入された製品プラスチックの資源化	・清掃工場へ搬入されたごみからの資源化は通年で行ってきましたが、持込みごみを粗大ごみのみとしたことから、資源化総量は減少しています。【資源循環課】	○ ①③
事業所の紙ごみリサイクルの推進	・紙ごみ受け入れ施設について、インターネットで他自治体の実施状況の調査を行った他、すでに設置し運用している他市の状況を見学・調査を行いました。【3R推進課】	△ ①③
家庭からでる雑紙の資源化促進	・市内大学の寮で雑がみ袋の配布を行いました。また、不動産業界窓口については、一部の不動産業者に連携の働きかけを行いました。【3R推進課】	○ ①③

#### (4) ごみの適正な排出・処理を進めます

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>①ごみ排出ルール周知徹底等の普及啓発を進め、適正な排出を促します</b>		
ごみの出し方・分別等の情報を発信するホームページ等の充実	・市民が資源とごみを正しく分別し計画的に出して頂けるよう適宜ホームページの不明瞭箇所の確認や情報の追加等を行いました。【3R推進課】	○ ①③
広報紙による啓発	・収集カレンダーの全戸配布を予定通り実施しました。内容に関しては、粗大ごみの持込みが予約制になったことを表紙に記す等、分かりやすい周知に努めました。 出し方パンフレットは、分別推進の視点から東京オリンピック・パラリンピックに向けた「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の取り組みを載せるなど情報を更新し3月末に作成しました。【3R推進課】	○ ①③
集合住宅の管理会社等への、ごみの出し方や減量に関する説明会の実施	・依頼があったときや必要と判断したとき、管理会社に対して適正排出について指導をしました。【3R推進課】	○ ①②③
「ルールブック」を活用した、事業系ごみの適正排出のための啓発	・ルール違反の報告のあった事業所18件に対し、指導を行いました。【3R推進課】	○ ①③
事業系ごみ搬入物検査機による、ごみの適正排出に関する指導の徹底	・搬入物検査時に不適物の混入があった場合には、注意書の発行・処理報告書の提出を求めており、ごみに対する意識改革が少しずつ進んできています。あわせて排出事業者への訪問指導を行いました。【資源循環課】	○ ①③
<b>②適切なごみ収集と運搬の効率化を図ります</b>		
→重点事業19(ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討) P6参照		
収集車両の適正配置によるごみ収集・運搬の効率化	・車両の代替計画とおりの入れ替えが難しい中、予防整備など車両管理を徹底し、適正で確実な収集運搬に努めました。【3R推進課】	△ ①
ごみの収集車両として天然ガス車、ハイブリッド車等の導入推進	・天然ガス車を1台導入しました。【3R推進課】	○ ①

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>③安全で適切なおみ処理を行います</b>		
ごみの適正処理に関する情報の案内、配布物等による情報提供	・ 所管しているホームページの全体的な見直しを行い、市民が見てわかり易く、興味をひくような内容に修正することができました。排ガス測定結果等の必要な情報は適宜更新をすることができました。【資源循環課】	○ ①
<b>④焼却灰等の有効利用を継続します</b>		
清掃工場が発生した焼却灰等のエコセメント化による資源化	・ 清掃工場から出る焼却灰は継続して、東京たま広域資源循環組合に搬入しエコセメント化することができました。【資源循環課】	○ ①③
下水処理場の汚泥焼却灰、沈砂の建設資材等としての再資源化	・ ばいじん（焼却灰）、燃えがら（流動砂等）の再資源化率 100%、汚泥（沈砂汚泥等）の再資源化率 88.1%、その他産業廃棄物の再資源化率 99%の再資源化率を達成しました。【水再生センター】	◎ ①③
<b>⑤ごみの資源化施設の整備を進めます</b>		
→重点事業 20（熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備） P7 参照		
→重点事業 21（資源ごみ処理施設の整備） P7 参照		

## ◆基本目標 4. 良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

### （1）大気汚染の防止に努めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①大気汚染状況を監視し、市民へ公表します</b>		
市内の大気環境の把握〔常時監視（都）、沿道大気調査（市）〕	・ 主要幹線道路交差点等における大気調査を 12 月に 8 地点で行いました。ダイオキシン類等分析調査を 3 地点で年 4 回（5,8,11,2 月）行いました。【環境保全課】	○ ①
大気調査結果や大気汚染情報等の収集及び周知・提供	・ 2016 年度に実施した大気調査結果について、4 月にホームページで公表しました。【環境保全課】	○ ①
光化学スモッグ注意報等発令時の周知	・ 光化学スモッグ東京都メール配信への登録案内の情報提供を各課の協力を得て、町田市メール配信サービス（子育て情報、気象・地震情報、学校教育情報）にて行いました。また、学校情報が発令された際にはすみやかに関係機関へ情報提供しました。（2017 年度の東京都多摩南部における注意報の発令回数は 0 件でした）【環境保全課】	○ ①
<b>②事業活動での大気汚染物質の発生を抑制します</b>		
大気汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・ 工場等設置時に届出がある場合は、届出内容を確認し、必要に応じて事業者へ指導を行いました。違反事業者に対しては、苦情等があった際に、現地確認し、改善について指導をしました。【環境保全課】	○ ①
野外焼却防止のための事前指導や広報等による啓発	・ 苦情があった際に現地に出動し、禁止及び例外行為に該当する場合は近隣への配慮を行うよう指導しました。また、環境広報紙に野焼きに関する記事を掲載し、防止を啓発しました。【環境保全課】	○ ①
<b>③自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【再掲（1-[3]-②）】</b>		
路線バスの利用環境整備	・ 町田郵便局前バス停、函師バス停の 2 箇所に上屋を設置しました。 ・ 町田バスセンター 1 2 番・1 3 番乗り場、広袴バス停の 3 箇所にベンチを設置しました。【交通事業推進課】	○ ①
地域コミュニティバス等の運行	・ 相原地域において 2018 年 2 月 1 日から 2018 年 3 月 30 日まで、実証実験運行を行いました。 ・ つくし野地区について、経路上の安全等について、警視庁と協議を行いました。【交通事業推進課】	○ ①
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・ 緑のカーテンイベントやセミ・セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけた。【環境・自然共生課】	○ ①

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>④低公害車の普及促進等を図ります【再掲（1-[3]-③）】</b>		
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行った。【環境・自然共生課】	◎ ①
水素ステーションの誘致	・今年度は水素ステーション誘致に至らなかったが、誘致活動を進展させた。【環境・自然共生課】	△ ①
エコドライブの周知、普及・啓発	・ECO まちだに記事を掲載した他、イベント実施時にはエコドライブガイドの配布を行った。また、庁内における周知も行った。【環境・自然共生課】	○ ①
低公害車[天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等]の公用車としての導入検討・実施	・業務用車両9台（ガソリン車8台・ディーゼル車1台）を、現行環境基準に適合した車両に買い替えました。【管財課】	○ ①
<b>⑤自転車利用環境の整備を進めます【再掲（1-[3]-④）】</b>		
→重点事業 22（自転車利用環境の整備） P7 参照		
自転車駐車場の整備	・2017年10月に鶴川駅南口自転車駐車を供用開始しました。2017年10月に町田ターミナル自転車駐車場のラック更新を実施しました。【道路管理課】	○ ①
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	・全庁掲示板を通じ、職員に自転車利用を促進した。【環境・自然共生課】	○ ①
	・自転車利用について、全庁（各部長宛）に通知で依頼し利用を喚起しました。【管財課】	○ ①

## （2）良好な水質の確保に努めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①汚水管の整備と合併処理浄化槽の普及による適正な汚水処理対策を進めます</b>		
→重点事業 23（下水道未整備箇所の汚水管整備の推進） P8 参照		
<b>②河川へ放流する下水処理水の水質向上を図ります</b>		
→重点事業 24（下水処理水の水質向上） P8 参照		
<b>③水質汚濁物質の排出抑制のため、市民・事業者への働きかけを推進します</b>		
水質汚濁について、河川等へ直接排水を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・河川等へ直接排水を行う事業場 30 件に対し排水調査を実施しました。内 1 件で基準値超過があり、違反事業者に対し改善指導を行いました。【環境保全課】	○ ②
下水道法に基づく、下水道に排水を行う事業者への調査や指導の実施	・92 事業場に対して処理設備の管理状況等について、聞き取り調査を実施しました。また、延べ 41 事業場に対して排水検査を実施しました。その結果 2 件の排水基準の超過が判明し、改善指導を行った結果、事業場からの汚濁物質排出を抑制することができました。【水再生センター】	○ ②
特定施設未届事業場の発見と、届出の指導の実施	・環境保全課と情報を共有するとともに、特定施設未届け事業場の発見と特定施設の届け出指導を行いました。【下水道管理課】	○ ②
	・未届事業場に対し随時指導を行い、2017 年度は設置届出書及び変更届出書を合わせて 40 件受理しました。【環境保全課】	○ ②
規制対象外事業者へのグリーンズ阻集器等の管理に関する啓発	・ホームページ等を利用し、排水設備の適正管理の啓発活動を行いました。 ・市内 83 店舗に対してグリーンズ阻集器の維持管理の啓発・指導を行いました。【下水道管理課】	○ ②
地下水汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・2017 年度に設置届出書もしくは変更届出書が提出された事業場 40 件のうち 7 件で有害物質使用特定施設があったため、構造基準の遵守、定期点検の実施及び管理要領の作成指導を行いました。【環境保全課】	○ ②
土壌や地下水汚染の防止のため、農薬や施肥の適正量の利用及び低減に向けた啓発の実施	・エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。 ・また、エコ農産物認証シールの購入経費に対し、補助金を交付しました。【農業振興課】	○ ②

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
下水接続の普及促進	・ 予定どおり鶴川地区の未接続家屋及び供用開始して間もない家屋（2016・2017 年度供用開始分）に公共下水道接続のための普及活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
河川の水質事故防止のための広報等による啓発	・ 環境広報紙やホームページを通じて注意喚起を行いました。また、12 月に発生した境川での魚の大量死の事故があった際に、周辺事業場への指導及び注意喚起を行いました。【環境保全課】	○ ②
下水道の正しい使い方の指導	・ まちだエコフェスタ、恩田川さくらまつりを通じ、下水道の啓発活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
下水処理場への市民等の施設見学受け入れ	・ 両処理場で市民、学校、団体等の年間で 305 名、団体数では 6 団体の方が施設見学に訪れました。 ・ 引き続き、多くの市民の方に処理場のことを知っていただけるよう努めていきます。【水再生センター】	○ ②
<b>④市内の主要河川等において、定期的な水質調査を実施します</b>		
主要河川である鶴見川、境川、恩田川等の河川調査の実施とホームページ等での調査結果の公表	・ 河川の水質調査は予定通り実施しました。地下水の水質調査については、濁水等の影響で法定調査 1 地点、独自モニタリング調査 1 地点で採水できませんでしたが、それ以外の調査は実施しました。調査結果についてはまとめ終わった段階で公表する予定です。【環境保全課】	○ ②

### （３）誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①有害化学物質等の適正管理・処理の指導を進めます</b>		
→重点事業 25（有害化学物質の適正管理・処理の指導） P8 参照		
事業者が自ら化学物質の適正な管理を行えるよう届出の指導	・ 化学物質使用量報告書の提出が必要とされる適正管理化学物質取扱事業者 77 件すべてから報告書が提出されました。また、事業者に対しては必要に応じ化学物質管理方法書の作成を指導しました。【環境保全課】	○ ③
既存建物の解体時におけるアスベスト使用調査・届出・適正処理の指導	・ アスベスト使用建築物の解体等工事について、事前相談や届出受理について適切に指導することができました。また、年 2 回の建設リサイクル法に関する一斉パトロールのほか、東京都から依頼のあったパトロールについても実施し、看板の掲示などに不備があった場合に指導しました。【環境保全課】	○ ③
	・ 事前の調査や手続きについて指導を行い、また現場で適正な処理をしているか確認することにより、事業者や施工業者に、アスベストの取り扱いについて、十分な注意が必要であることを周知しました。【建築開発審査課】	○ ③
<b>②悪臭の発生防止に努めます</b>		
悪臭について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び、悪臭を発生させた事業者への指導	・ 工場設置認可申請等を受ける際には、あらかじめ悪臭が発生しない作業工程や設備の導入をするよう指導しました（2017 年度は工場 17 件、指定作業場 34 件の申請がありました）。また、悪臭を発生させてしまった事業所等に対しては、原因を究明したうえで、作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
清掃工場における、臭気測定の実施及び設備の適正管理による臭気の発生抑制対策の実施	・ 1 月に脱臭装置の活性炭を詰め替えました。3 月に敷地境界で臭気指数を測定し、規制基準値への適合を確認しました（測定値 10 未満）。【資源循環課】	○ ③
農業者に対する畜舎清掃や畜糞の適正処理方法、施肥の適正な使用方法の周知等、臭気発生抑制の指導	・ 畜舎の衛生管理に必要な経費に対する補助を行いました。周辺住民からのご意見をいただく中で、関係機関と協力しながら臭気発生抑制の対応を行いました。【農業振興課】	○ ③
<b>③自動車や、事業活動による騒音・振動問題への取り組みを進めます</b>		
主要幹線道路における自動車騒音調査の実施	・ 自動車騒音常時監視・面的評価については 8 ヶ所委託にて実施しました。また市内幹線道路の自動車騒音測定（要請限度）についても 3 ヶ所直営にて実施しました。【環境保全課】	○ ③

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
騒音・振動について、工場等を設置する事業者や工事を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・工場設置認可申請等や事前協議、特定建設作業実施届を受ける際には、騒音や振動の発生に注意し、近隣へ配慮するよう指導しました（2017年度は事前協議151件、特定建設作業136件の申請がありました）。また、騒音や振動により近隣から苦情が生じた場合には、原因を究明したうえで、事業場等に対して作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
<b>④航空機騒音の軽減のための取り組みを進めます</b>		
国及び米軍に対し、NLPや早朝・夜間・土日祝日の飛行の中止・制限等を要請	・国及び米軍に対し、早期かつ確実に空母艦載機の移駐等を実施するとともにきめ細かく情報提供を行うこと、恒常的訓練施設を確保すること、空母艦載機による騒音問題の解決に積極的に取り組むことを厚木基地騒音対策協議会で要請しました。 ・米軍に対し、厚木飛行場周辺における「航空機騒音防止対策の推進」について東京都と共同で要請しました。【企画政策課】	○ ③
航空機騒音の常時測定〔市内5箇所〕と測定結果の広報	・航空機騒音常時測定（市内5箇所）を適切に実施しました。 ・航空機騒音について、市が測定した結果を広報やホームページで公表し、航空機騒音による苦情件数とともに速やかに関係機関に報告しました。【環境保全課】	○ ③
<b>⑤その他の問題の対策を考え、安心して快適な環境の実現を図っていきます</b>		
建築物等を建設する事業者に対する電波障害の事前調査や対策の指導	・中高層建築物を建築する際の事前協議において、10m以上の建築物の場合は、テレビの受信障害調査を実施し、その報告書の提出を指導しました。また、建築中または建築後に受信障害が発生した場合は、速やかに対応するよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
電波障害及び受信障害の相談、情報提供	・テレビ受信障害調査報告書に基づいた障害予測地域の情報提供を行いました。【環境保全課】	○ ③
事業者に対する屋外照明、駐車場での車両照明等の配慮など光害未然防止の指導	・工場等設置届出時及び中高層建築物を建築する際の事前協議、大規模小売店舗立地法に伴う事前協議において、屋外照明や車両の灯火による光害防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
街路灯への遮光板の取り付け	・市民からの要望により年間、5基の街路灯に遮光板を取り付けました。【道路維持課】	○ ③
監視・指導による土砂の不法投棄の防止と早期発見	・土砂の埋立に関する相談を受けた際に、条例に基づいた許可を取得するよう指導を行いました。また、外出時には監視を行いました。【建築開発審査課】	◎ ③
近隣騒音などのトラブル防止のためのマナー啓発	・生活騒音についての啓発記事をホームページに掲載しました。【環境保全課】	○ ③
市民の生活環境の保全のための空き家対策の推進	・管理不全となっている空家所有者への文書による意識啓発や現地調査に基づく現状についての情報提供を実施した結果、管理不全となっていた空家を63件改善することができました。【住宅課】	◎ ③

※厚木基地騒音対策協議会会員（行政関係）

町田市・神奈川県・横浜市・藤沢市・茅ヶ崎市・相模原市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市

#### （４）美しいまち並みづくりを進めます

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>①地域が主体となった良好な景観づくりを進めます</b>		
→重点事業26（生活風景宣言等による良好な景観づくり） P8参照		
景観づくりの基準となるガイドラインの整備	・「町田市屋外広告物ガイドライン（景観編）」を3月に策定しました。【地区街づくり課】	○ ③
景観づくりセミナーの実施	・景観イベント「マチ×ヨガ#町田で発見」を3月に開催しました。【地区街づくり課】	○ ③
景観づくり市民サポーターによる啓発活動の実施	・課題と方向性を整理し、若い世代を対象とした新たな取り組みの実現に向けた検討をしました。【地区街づくり課】	○ ③
<b>②快適な道路環境づくりを進めます</b>		
市内各駅における放置自転車対策の実施	・放置自転車対策の委託先一元化を実施しました。また、午後の買い物客に対する対策として町田駅の午後撤去回数の増加、午後3時以降の一斉撤去を実施しました。【道路管理課】	○ ③

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
学校や地域での自転車や二輪車のマナー啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校 36 校（6 校の小学校については、雨天等のために警察による講話のみ実施）と市立中学校 6 校を対象に自転車教室を開催しました。中学校自転車教室の実施に当たっては、PTA や地元の町内会・自治会の役員にも案内をし、参加を促す工夫をしました。</li> <li>・警察と連携し、街頭で自転車利用者や二輪車の運転者に対して、安全運転を呼び掛けるなどの啓発を行いました。</li> <li>・9 月に開催した「町田市民交通安全フェスティバル」の中で、「自転車安全運転スタンプラリー」と「白バイ隊員による二輪車実技教室」を実施し、自転車利用者や二輪の運転者に対して啓発を行いました。<b>【市民生活安全課】</b></li> </ul>	○ ③
都市計画道路、市街地道路での無電柱化工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都計道 3・4・34（金森）の連携引込工事をおこないました。</li> <li>・都計道 3・4・38 号線（木曾東）の電線共同溝及び道路築造工事を行いました<b>【道路整備課】</b></li> </ul>	○ ③
市民ボランティア団体による道路の美化活動の推進 [アダプト・ア・ロード事業]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に 2 団体が登録しました。既存団体には、活動報告を提出してもらい、また希望団体には活動に必要な物品の支援を行いました。<b>【道路管理課】</b></li> </ul>	○ ③
<b>③ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止に努めます</b>		
統一美化キャンペーンの PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・ホームページ・ポスター等を通じ、ごみゼロデーの PR を行うとともに、5 月 30 日に町田駅周辺で散乱ごみの一斉清掃を実施しました。<b>【環境保全課】</b></li> </ul>	○ ③
美化推進重点区域（あきかん、吸い殻等のポイ捨て防止区域）の指定及び運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 月に南町田駅周辺、3 月に多摩境駅周辺でポイ捨て禁止を呼びかける啓発活動を実施し、指定区域外のポイ捨てごみの状況を確認しました。また、委託業者による指定区域の清掃を実施するとともに、啓発活動では散乱ごみの清掃を実施しました。<b>【環境保全課】</b></li> </ul>	○ ③
道路等喫煙禁止区域（路上喫煙禁止区域、喫煙スポット）の指定及び運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化推進重点区域及び道路等喫煙禁止区域の巡回は、町田駅周辺 742 回、鶴川駅周辺 159 回、成瀬駅周辺 167 回の合計 1,068 回実施しました。<b>【環境保全課】</b></li> </ul>	○ ③
あき地の所有者への雑草除去指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あき地の現地調査を行い、雑草が繁茂している状態のあき地の所有者に対して年二回（春と秋）の除草をするよう、依頼、指導を行いました。また、所有者自身で除草ができない場合は、除草料を納付していただき、委託業者による除草を行いました。<b>【環境保全課】</b></li> </ul>	○ ③
不法投棄監視カメラの有効利用及び、パトロールによる再発防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部署及び警察機関と連携し、不法投棄発生場所への啓発看板設置や不法投棄重点地区のパトロールの実施（昼・夜）を行いました。<b>【3R 推進課】</b></li> </ul>	○ ③
土地所有者等との協働による、不法投棄再発防止対策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄発生場所に啓発看板を設置（18 件・49 枚）し、不法投棄防止策及び再発防止策を提案しました。<b>【3R 推進課】</b></li> </ul>	○ ③

## ◆基本目標 5. 環境に配慮した生活スタイルの定着

～学び・共同で進めるまちづくり～

### (1) 次世代を担う子どもの環境学習を進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①学校における環境教育の充実を図ります</b>		
→重点事業 27（環境副読本を活用した環境教育の実施） P9 参照		
各教科等における指導、環境学習、農業体験、自然体験の実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大蔵小学校と小中一貫ゆくのき学園大戸小学校において、地域の方々の協力を得ながら学年や委員会活動でピオトープの整備を行うとともに、児童が学習などで活用しました。<b>【指導課】</b></li> </ul>	○ ②
ボランティアコーディネーター等を活用した環境教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者の協力を得ながら緑化運動や林業体験などを実施し、生物と環境との関わりを学習することができました。</li> <li>・大蔵小学校では、地域の方の協力を得て「ホテルの鑑賞会」を行いました。<b>【指導課】</b></li> </ul>	○ ②

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
出前講座を活用した児童・生徒、保護者への環境教育の実施	・ 中学校3校(4回) 小学校33校 学童保育クラブ10クラブ 保育園・幼稚園57回の出前講座を実施しました。学童保育クラブではダンボールコンポスト講習会をメニューに加え、各クラブに取り組んでいただきました。【3R推進課】	○ ②
<b>②子どもの環境学習・体験学習を進めます</b>		
→重点事業 28(子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施) P9 参照		
こどもエコクラブの設立促進と活動の継続支援	・ ホームページでの周知を継続するとともに、町田市内のこどもエコクラブの情報を引き続き管理しました。【環境・自然共生課】	○ ③
<b>③環境教育情報の収集・提供を図ります</b>		
出前講座や大学が提供する環境教育の取り組み等、既存の環境教育プログラム情報の収集、提供	・ 6月におだきゅう親子環境教室 in 町田を開催したほか、8月に水素エネルギーに関する夏休み環境学習を実施、12月にまちカフェでのスイソミル(都の水素啓発施設)出張イベントなどを実施し、取り組みの情報をホームページなどで提供した。こどもエコクラブのコンテンツを継続公開しました。【環境・自然共生課】	○ ③

## (2) 市民・事業者の環境学習・保全活動を推進します

取り組み項目	2017年度実施内容	評価 達成目標
<b>①市民の環境学習や環境保全活動に参加する機会の充実を図ります</b>		
環境に関する学習機会の提供	・ 2017年度もまちだ市民大学 HATS 環境講座を、前期(4~7月)全8回、後期(9~12月)全9回の年間で17回実施しました。講座後のアンケートから、講座終了後もエコ活動に取り組みたいと回答した人の割合が8割を超える結果となりました。【生涯学習センター】 ・ 環境をテーマとしたイベントを年4回以上開催しました。【市民協働推進課】 ・ <市民協働による生きもの調査>5月にツバメの巣探し調査、7~10月にセミの鳴き声調査を行いました。<イベント>6月と8月にセミの種類や生態を学ぶセミナーを、6月におだきゅう親子環境教室 in 町田、8月に水素エネルギーに関する夏休み環境学習を実施しました。【環境・自然共生課】	○ ①③ ○ ①③ ◎ ①③
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの開催を通じた啓発	・ 環境省「ライトダウン2017」において市職員等に呼びかけ、節電意識の向上を図ることができました。また、2017年度も相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。【環境・自然共生課】	○ ①③
まちづくりの検討の場での環境配慮の視点の啓発	・ 小山田桜台まちづくり協議会で、谷戸池公園の池の水質浄化活動を行いました。【地区街づくり課】	○ ①③
生物多様性にかかわる多様な主体の交流の場づくり	・ 11月23日にまちだ生きもの共生フォーラムを開催し、市民団体の現地ガイドやワークショップ、パネル展示を行いました。【環境・自然共生課】	○ ①③
<b>②事業者の環境配慮への取り組みや環境保全活動を支援します</b>		
中小企業が行う環境に配慮した整備への改修等に必要な資金調達への支援	・ 町田市中小企業融資制度において環境改善整備資金のメニューを設け、取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。【産業観光課】	○ ①
事業者の環境保全活動の支援	・ 町田エコフェスタにて、エコ宣言制度を紹介し、募集したエコ宣言参加事業者の環境配慮活動のPRを行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
	・ 事業者が利用することができる制度の紹介を掲載したアクションプラン概要版を作成し、商工会議所やイベント等で配布しました。【環境政策課】	○ ①
公益的市民活動への事業者参加の促進	・ 企業と連携して公園清掃を行う仕組みを作り、要領を策定して次年度より正式運用に至りました。【公園緑地課】	○ ①
里山における事業者の環境保全活動の場を提供する仕組みづくり	・ 事業者・市・NPO法人の三者による協定を締結し、鶴見川源流保水の森で環境保全活動を2回実施しました。【北部丘陵整備課】	○ ①
<b>③環境に配慮した事業者を認定する制度をつくります</b>		
→重点事業 29(まちだエコ宣言制度の推進) P9 参照		

### (3) 環境学習・保全活動の基盤づくりや協働の仕組みづくりを進めます

取り組み項目	2017 年度実施内容	評価 達成目標
<b>①環境に関する情報を積極的に発信します</b>		
環境に関する情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ECOまちだ」を年4回発行しました。</li> <li>「環境白書 2017」を発行しました。また、ホームページでも情報を公開しました。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市ホームページの中に新たに湧水のコンテンツ、アライグマ・ハクビシンに関するコンテンツを作成しました。普及啓発資料として、「まちだ生きもの探しマップ」を発行しました。また、生きものストップについて改めて方向性を検討しました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①
環境に関する出版物を充実させて提供、環境をテーマにした特集コーナーを随時設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する出版物の収集に努め、2017 年度受入合計は 179 冊で、2017 年度末の合計は 5,386 冊となりました。鶴川駅前図書館は、里山や身近な自然に関する資料をまとめた書架「みどりのコーナー」を、中央図書館では、児童コーナーに「小さな自然」と題したコーナーを設置して常設しています。【図書館】</li> </ul>	○ ①
町田市の環境の状況・取り組み等の白書・ホームページ等での公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016 年度環境調査事業概要をホームページで公表しました。航空機騒音について、市が測定したデータ及び東京都が 2016 年度に測定したデータを取りまとめ、広報やホームページで公表しました。土壌汚染対策法に関する区域指定等の情報についても随時ホームページに掲載しました。【環境保全課】</li> </ul>	○ ①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市の2017年度の環境の状況や取り組みなどを「町田市環境白書2017」として公表しました。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①
市のイベントにおける環境配慮の取り組み推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコキャラクターハスのんの使用・貸出申請は今年度 17 件あり、それぞれのイベントの中で参加者への環境配慮の呼びかけを行いました。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑のカーテンイベントやセミ・セミナーなどの催して公共交通機関の利用の呼びかけを行いました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①
<b>②市民・事業者の環境保全活動の情報の共有化を図ります</b>		
→重点事業 30（ホームページの充実による情報集約・発信） P10 参照		
<b>③大学等との連携を進め、環境学習の機会を創出します</b>		
相模原・町田大学地域コンソーシアムや各大学と環境学習に関する取り組みを連携・協働して行うための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整した結果、講師等の都合により、環境をテーマにした「さがまちカレッジ」を、協働して実施することができました。【生涯学習センター】</li> </ul>	○ ①③
ECO-TOP インターンの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECO-TOP インターンとして夏期に 3 名、冬期に 1 名の大学生を受け入れ、市の施策や事業体験を通じて行政の役割について学習してもらいました。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①③
<b>④環境保全活動の担い手の育成、人材の活用を図ります</b>		
→重点事業 31（ごみ減量サポーターの地域活動支援） P10 参照		
環境保全活動団体や環境保全に取り組む市民への支援の検討、実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町田生きもの共生フォーラム」において、里山の活用をテーマとする団体コエダプラスプロジェクトの報告・ワークショップを実施し、団体のパネル展示を行いました。市のホームページにおける環境保全活動団体の紹介を継続しました。【環境・自然共生課】</li> </ul>	○ ①③
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全団体等への支援方法を検討しましたが、今後の具体的方策については、更なる検討を行う必要があります。【環境政策課】</li> </ul>	○ ①③